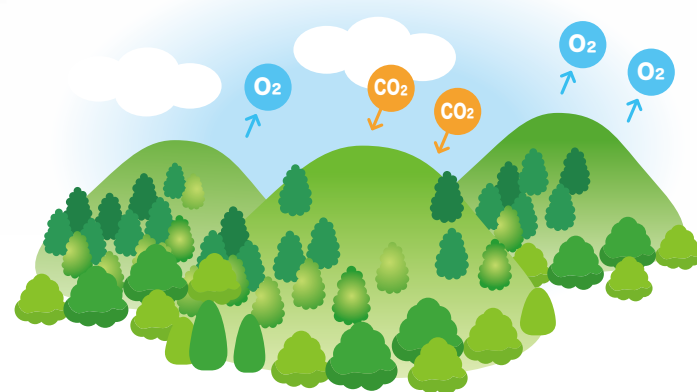


ながさき協働の森林づくり推進 森林吸収量認証制度

企業の森づくり協定にもとづく
森林整備計画等の実施により
森林に吸収される
二酸化炭素の量を認証します。

地球温暖化と森林

- 近年のさまざまな異常気象の原因のひとつとして地球の温暖化があげられます。地球温暖化を進めている温室効果ガスの主なものが二酸化炭素です。
- 手入れが行われた“元気な森林”は、光合成を行って、この二酸化炭素を吸収します。つまり、森林の手入れを行い、森林を元気にすることで、二酸化炭素の吸収を助け、大気中の二酸化炭素を減らすことで、地球温暖化の防止に貢献できるのです。



森林吸収量認証制度とは

企業の森づくりとして行おうとしている、樹木の植栽および下刈・除伐・間伐といった森林の手入れにより、新しく森が生まれたり、森が元気になることで吸収される二酸化炭素量について、長崎県が認証を行う制度です。企業としての社会貢献の“見える化”が行えます。

環境に良いことは
わかるけど…

……………> 企業としての取組を認定し、“見える化”

0.1haの植樹を行います。

0.1haの植樹により、**2.5t**の二酸化炭素が吸収されます！
これは、年間**43世帯**がマイバック・省包装運動で削減する二酸化炭素量に相当します!!

0.3haの間伐を行います。

0.3haの間伐により、**11t**の二酸化炭素が吸収されます！
これは、**57世帯**の高効率給湯器に買い替えにより年間削減される二酸化炭素量に相当します!!

森林吸収量認証の活用方法

社会貢献度の具体的な周知・PR

CSR推進ツールとして利用

申請対象者

- 本社又は支社(支店・営業所等を含む)を長崎県内におく法人
- 森林ボランティア活動を行う団体として長崎県の登録を受けたもの
- 県内の団体(個人の場合は3名以上で構成された任意団体とする)であって規約等を有するもの

対 象

- 協定等により対外的に明示される森林整備等の計画
 - 算定の対象となる森林整備等の種類
 - ・造林(樹木の植栽)
 - ・下刈
 - ・除伐
 - ・間伐
- ※ただし、県が定める森林整備の指針に準拠するものに限る。

期 間

- 算定期間は森林整備の計画期間
- 認定の期間5年以内



森林吸収量認証の流れ



企業・団体など

- 森林吸収量認証申請



森林ボランティア支援センター

- 受付窓口(提出サポート)



長 崎 県

- 調査、認証及び木製認証書の交付

ながさき協働の森林づくり推進森林吸収量認証制度事例



長崎トヨペット(株)・ネットヨタ長崎(株)

「ハイブリッドの森」

約22haの間伐により吸収される二酸化炭素量は475.4tで、トヨタプリウス約512台分が年間に排出する二酸化炭素を吸収



九州電力(株)長崎支店

「九電みらいの森」

約2haの植樹・育林により吸収される二酸化炭素量は34.6tで、約243世帯がひと月に使用する電力を生み出す際に排出される二酸化炭素を吸収



HMI(株)長崎につしyoungかん

「HMI 長崎につしyoungかん しおかぜ香る おもてなしの森」

約0.1haの植樹・育林により吸収される二酸化炭素量は2.3tで、延べ1,646室の客室が1日間使用する電気を生み出す際に排出される二酸化炭素を吸収

森をつくる。
海をつくる。



「森と海を育む企業の森づくり」

長崎県森林ボランティア支援センター

<https://nagasaki-shinrin.com>

センターのホームページはこちら



森と海を育む企業の森づくり

森林を育てることは、
豊かな海へつながります。

日本列島の西端に位置する長崎県は、多くの島々や半島からなり、
海岸線の長さは全国2位、漁獲量全国3位の豊かな海に囲まれています。
森林は、水を育み、海へ運ばれ、豊かな海をつくります。

ほかに

水を貯え
土砂災害の
防止

二酸化炭素を
吸収し
地球温暖化防止

木材の供給

憩いの場

森林が元気を
なくしています。

農山村の高齢化や過疎化などにより、
適切に手入れがされないままの森林が
増えてきています。手入れをおこなうと、
森林の活力が失われ、森林のさまざまな
機能が保てなくなります。

森は今、人の力を
必要としています。

そのようななか、長崎県内各地で森林
ボランティア団体(余暇を利用し自主的に
森林整備を行っている団体)が森づく
り活動を行っています。

お願い
したいこと

長崎県は、総土地面積のうち約6割が森林です。森林ボランティアの方々が活躍
しているのですが、まだ手入れを必要とする森林がたくさんあります。

社会全体で森を育て、元気な森林を未来へ残していくため、
企業の皆様も森づくりに力をお貸しください！



手入れ前

県内には手入れの行き届
かない森林が、まだまだ
残されています。

手入れ後

手入れをし、林内に光が
入るようにすることで、木
や下草の成長が促進さ
れ、森が元気を取り戻し
ます。

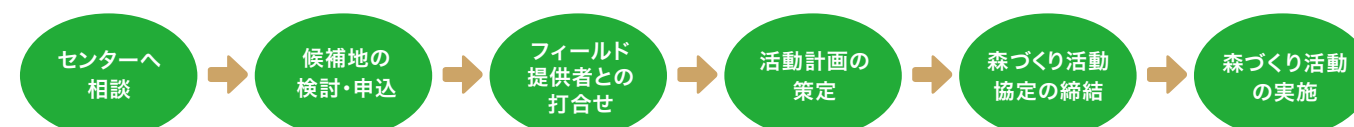


企業の森づくりとは？

手入れが遅れている森林等を、企業、森林所有者と長崎県の協定にもと
づいて、従業員や地域住民等と協力しながら手入れを行ったり、企業が
森林組合などに整備を委託したりして、森を育てていくことです。
また、整備を実施した森林において、森林環境教育を行う事で人と森を
つなげます。

企業の森づくりで、社会貢献しませんか？

長崎県森林ボランティア支援センターが窓口となり、これから森づくりで活躍する
企業を全力でお手伝いします。



企業の森づくりから 生まれるもの

社会貢献として、地域や地球環境を守ることができます。

独自に企業の森の名称をつけることで、社会貢献の「見える化」が促進されます。

従業員の森林環境に対する理解が深まり、環境保全の意識が高まります。

企業と地域住民との交流が深まります。



長崎県内における“企業の森づくり事例” 令和3年度現在

①活動場所 ②活動内容 ③活動面積 ④協定締結日 ⑤協定期間



クスギの植栽

長崎トヨペット(株)・ネットトヨタ長崎(株)「ハイブリッドの森」

- ① 長崎市長浦町、長崎市琴海町 ② 間伐・植樹・育林・森林環境教育
③ 第1期 14.88ha 第2期 22.29ha 第3期 6.69ha
④ 第1期 平成22年1月20日 第2期 平成26年3月31日 第3期 平成31年4月1日
⑤ 15年間



植樹後の育林活動

九州電力(株)長崎支店「九電みらいの森」

- ① 島原市南千本木町 ② 森林整備・植樹・育林・森林環境教育
③ 第1期 1.86ha 第2期 1.86ha 第3期 2.0ha
④ 第1期 平成22年10月30日 第2期 平成26年4月1日 第3期 令和2年3月3日
⑤ 9年間



植樹後成長した松林

ホテルマネジメントインターナショナル(株)長崎にっしょうかん 「HMI 長崎にっしょうかん しおかぜ香る おもてなしの森」

- ① 長崎市脇岬町 ② 森林整備・植樹・育林・森林環境教育
③ 第1期 0.0864ha 第2期 0.0864ha
④ 第1期 平成25年12月10日 第2期 令和3年4月1日 ⑤ 11年間



植樹祭の様子

(株)読売新聞西部本社・(株)長崎国際テレビ「九州・山口 未来の森」

- ① 佐世保市世知原町 ② 森林整備・植樹・育林・森林環境教育
③ 0.2ha ④ 令和3年4月1日 ⑤ 10年間



ホルスの森 看板

(株)ホルス「ホルスの森」

- ① 長崎市民の森 ② 森林整備・遊歩道の整備・森林環境教育
③ 1.0ha ④ 令和3年8月26日 ⑤ 5年間



完成イメージ

(公財)九電みらい財団「いさはや九電みらいの森」

- ① 諫早市大場町 ② 森林整備・植樹・育林・森林環境教育
③ 2.0ha ④ 令和4年1月31日 ⑤ 10年間

【企業の森・森林吸収量認証についてのご相談は】

長崎県森林ボランティア支援センター

〒850-0028長崎県長崎市勝山町37番地長崎勝山37ビル本館2階F室
TEL:095-895-8655 FAX:095-895-8656 E-mail:info@nagasaki-shinrin.com
ホームページ:https://nagasaki-shinrin.com

長崎県林政課

〒850-8570長崎県長崎市尾上町3-1 TEL:095-895-2983 FAX:095-895-2596
E-mail:s07090@pref.nagasaki.lg.jp
ホームページ:https://www.pref.nagasaki.jp/section/rinsei/index.html

ホームページ
はこちら

